

食に関するニュース

- 飲食店従業員の不適切動画投稿が相次ぎ問題に
- 新元号発表、祝賀ムードで活気づく
- 日欧 EPA 発効、巨大経済圏が誕生
- 台風 15 号被害、千葉県の農林水産業被害は約 267 億円
- 台風 19 号で長野県千曲川氾濫、収穫前のリンゴ直撃
- 消費税率 10% に引き上げ、わが国初の複数税率導入
- コンビニの 24 時間営業が社会問題化



いちき串木野市観光特産品協会主催「新元号発表 祝賀イベント」

- 食品ロス削減推進法施行、SDGs に挑戦意欲
- ゲノム編集技術による食品の届け出制度スタート (厚労省)
- 深刻化するドライバー不足改善に向け「ホワイト物流推進運動」立ち上げ (国土交通省など)
- キャッシュレス還元、約 50 万店でスタート (経済産業省)



キャッシュレス還元事業を PR する菅原一秀経産相 (中央右)

食品界の動き

- 新元号「令和」、各社で新元号祝う商品発売
- GW10 連休の物流対応に向けてメーカーへ協力要請、万全供給体制敷く (日食協)
- プラごみ問題解決へ、業界垣根越え新団体クリーン・オアシス・マテリアル・アライアンス (CLOMA) 設立
- コード式スマホ決済などコンビニで独自化の動き、利便性から囲い込みへ
- 一部の店舗で夜間休業実験 (セブン・イレブン)
- 乳児用液体ミルクを全国発売、災害備蓄用需要に期待 (江崎グリコ)
- 小売各社が食品ロス削減を積極化、商慣習 3 分の 1 ルールを 2 分の 1 ルールへ緩和
- ポイント還元効果に業態間で格差、10 月小売で CVS のみプラス
- 複数税率により小売・外食業界は価格対応に苦心



「令和」に「ライム」(コカ・コーラ クリアライム)



ローソンでは消費期限間近の商品購入でポイントを付与



王将フーズは、店頭テイクアウトを強化した

- 吉野家とライザップがコラボで高タンパク・低糖質新メニュー
- アリババ、日本製品の拡大へ、130 万店以上が参加するプラットフォーム「LST」へ参加呼び掛け
- ローソンが深夜無人営業を実験、酒などへの影響も検証
- セブン&アイ、「7pay」9 月末終了連携欠く開発体制が一因
- SDGs 達成へ向け、各メーカー賞味期限の年月表示への変更や賞味期限延長を実行
- 欧州産ワイン輸入量大幅増で関税撤廃の効果大 (日本洋酒輸入協会)
- ベジミートなど代替食が台頭
- MEL 認証を GSSI が承認、日本の漁業管理を世界が認める
- インバウンド客専用の日本料理店、大阪・ミナミに 2 店同時開店
- アレルゲン 27 品目不使用の非常食米めん開発 (アルファフーズ、ケンミン食品)
- 活気づく日本米輸出、おにぎりブームが追い風
- よく食べる果物、バナナが 15 年連続 1 位



来店客は深夜無人営業店にスマホをかざして入店



バリューボルドーでは 1 本当たり 200 円安に

「クラフトボス」の紅茶シリーズ (サントリー食品インターナショナル)

←こだわりレモンサワー 檸檬堂 (日本コカ・コーラ)

タビオカ
悪魔のおにぎり
高プロテイン
高級食パン
バスク風チーズケーキ

カッパヌードル 味噌 (日清食品) →

創味 だしのかきたまろやかなお酢 (だしまろ酢) (創味食品)

たつぷりたまごポン酢 (徳島産)

明治ほろえみ らくらくミルク (明治)

午後紅茶 MILK TEA (ザ・メイスターズ)

キリン 午後の紅茶 ザ・マイスターズ ミルクティー (キリンビバレッジ)

TAPOCA TIME タビオカミルクティー (安曇野食品工房)

新技術



マ・マー Palette (パレット) フェットチーネ (日清フーズ) 個食対応や簡便調理など機能価値と、おいしさと選ぶ楽しさの情緒的価値をあわせ持つ。

ガセリ菌 SP 株ヨーグルト (雪印メグミルク) → ヨーグルトとして初の機能性表示を取得。



MSC おさかなミンチ (日本水産) 高タンパク・低脂質・糖質ゼロのスケソウダラへ新価値創造。



「お肉まる」「お魚まる」(マルトモ) 肉や魚をレンジで調理する業界初の即席調味料。

気候変動の近未来予測を もっと身近に —情報科学に基づく方法論—

国立研究開発法人海洋研究開発機構 臨時研究補助員 中川友進

本稿は、公益社団法人日本地球惑星科学連合が発行する学術雑誌「Progress in Earth and Planetary Science」に2020年2月28日に掲載した、将来気候の予測データの効率的な利用に関する研究開発の論文^{*1}に基づいている。当該論文は、オープンアクセスであるので、誰でも閲覧することができる。

いま起きつつある気候変動

近年、地球温暖化が原因と考えられる気候変動により、大型の台風、大雨や猛暑といった異常気象が起きている。農業という観点からは、たとえば高温による米の白濁、高温・多雨によるみかんの浮皮症が報告されている^{*2}。そのため、気候変動は近未来の課題ではなく、すでに私たちの生活に影響が出始めつつある課題である。このような影響から私たちの生活を守るためには、コンピュータを用いて近未来の気候変動を正確に予測して、実用的な対策を策定・実施する必要がある。

予測データの利用の現状

コンピュータの性能の向上にともない、将来気候の大規模なアンサンブルデータ^{*1}（以後、大規模アンサンブル気候データ）のデータサイズは急激に増加している。たとえば「気候変動リスク情報創生プログラム」により作成された「地球温暖化対策に資するアンサンブル気候予測データベース」(the database for Policy Decision making for Future climate change; d4PDF)^{*3}の場合、データサイズは約3 PBである。このような大規模アンサンブル気候データの系統的な解析は、確率的な気候変動の影響評価を行うために非常に重要である。しかし、系統的な解析には、一般に高性能なコンピュータだけでなく、大容量のデータ記憶装置が必要である。そのため、個々の研究者による系統的な解析は困難になりつつある。

「気候変動適応技術社会実装プログラム」(Social Implementation Program on Climate Change

Adaptation Technology ; SI-CAT) は、将来の気候変動に対する適応策に資する技術の開発を目的とした国家プロジェクトである。SI-CATでは、地球の平均気温が産業革命以降2℃上昇した将来気候のアンサンブルデータを作成した^{*4}。そのデータはd4PDFの一部として、「データ統合・解析システム」(Data Integration and Analysis System Program; DIAS; <http://www.diasjp.net>) で公開されている。

d4PDFのデータサイズは約3 PBであり、過去のデータセットと比較して、とても大きい。DIASにおいて、d4PDFが保管されているデータサーバーと同じネットワークに、d4PDFのための解析サーバーがあれば、ユーザーはデータをダウンロードせずに解析を行うことができる。しかし、現状ではd4PDFのための解析サーバーは無いため、ユーザーはd4PDFを自身のローカルコンピュータにダウンロードする必要がある。この場合、d4PDFのデータサイズが大きいことにより以下の問題が発生すると考えている。

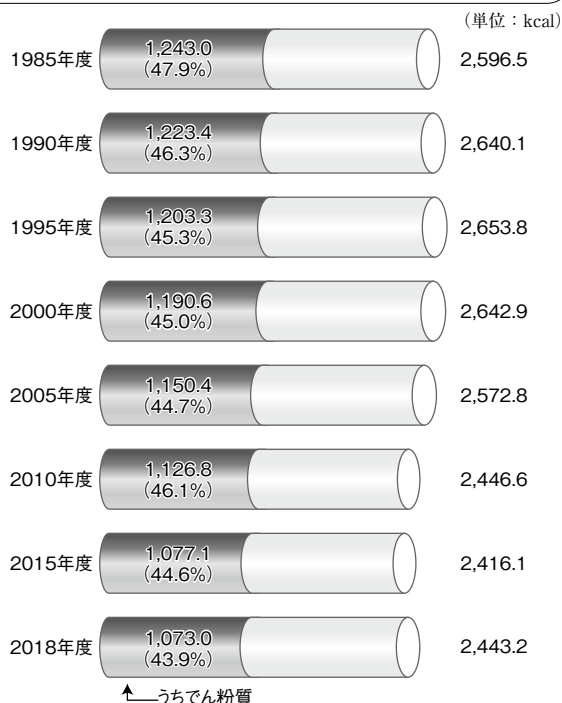
- ① d4PDFをダウンロードするユーザーのディスク容量が不足する。
- ② DIASのデータサーバーからユーザーのローカルコンピュータへのダウンロードに長い時間がかかる。
- ③ データサーバーへ高い負荷がかかる。

これらの問題を解決するためには、ユーザーが要求を満たすデータを検索してダウンロードできる機能を有した、ユーザーフレンドリーなシステムが必要である。

DIASやWDCC (<https://cera-www.dkrz.de/WDCC/ui/cerasearch>) など、気候データのための従来のWebベースの検索システムは、気候の研究分野において検索や可視化に活用されている。これらすべての従来システムは、データファイルに格納されている物理量を使用してデータを検索するようには設計されておらず、データファイルそのものに関連づけられているメタデータを使用してデータファイルを検索するように設計されている。そのため、従来システムを用いると、前述の問題が発生する。気候データのデータサイズが、ユーザーのローカルコンピュータにダウンロードすることができ

栄養供給量

1人1日当たり供給熱量



供給熱量は微増傾向続く

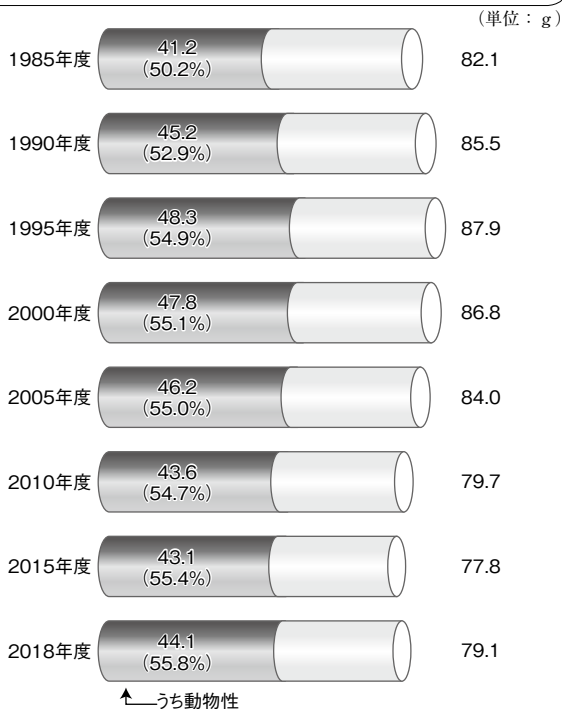
2018年度の国民1人1日当たりの供給熱量は、対前年度比0.2%増(4kcal増)の2,443kcalとなった。

2018年度における摂取熱量に占めるたんぱく質、脂質、糖質(炭水化物)の割合(いわゆるPFC比率)は、前年度に比べ、たんぱく質の割合は増加し、脂質も増加した。

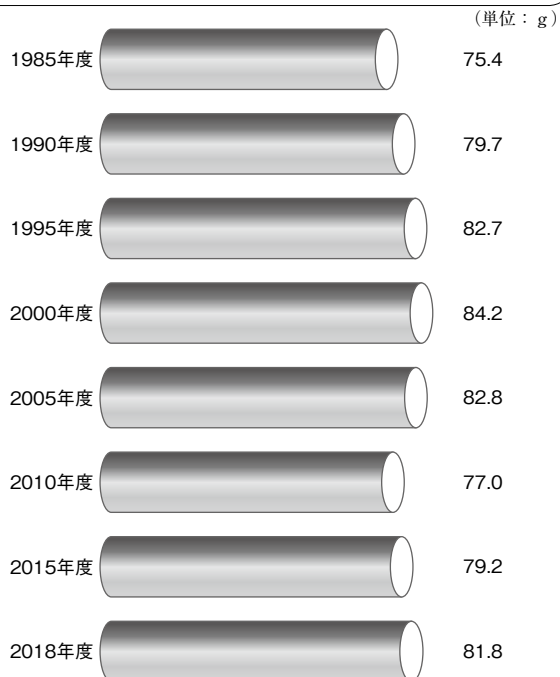
また、2018年度の供給たんぱく質は、同0.2%増(0.2g増)の79.1gとなった。うち、動物性たんぱく質は、0.6%増(0.3g増)の44.1g、植物性たんぱく質は、0.2%減、(0.1g減)の35.0gである。

2018年度の供給脂質は、同1.4%増(1.1g増)の81.8gとなった。油脂類をみると、植物性油脂が対前年度比0.6%増(0.2g増)の37.2g、動物性油脂が2.4%減(0.1g減)の1.6gとなり、油脂類計では38.9gとなり0.4%(0.2g)増加した。

1人1日当たり供給たんぱく質



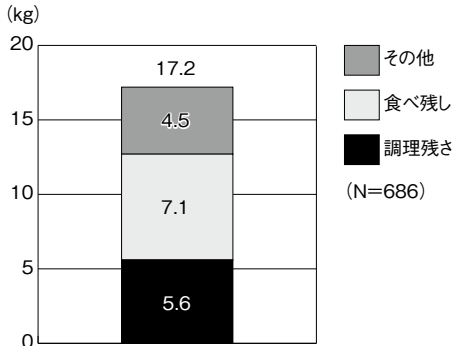
1人1日当たり供給脂質



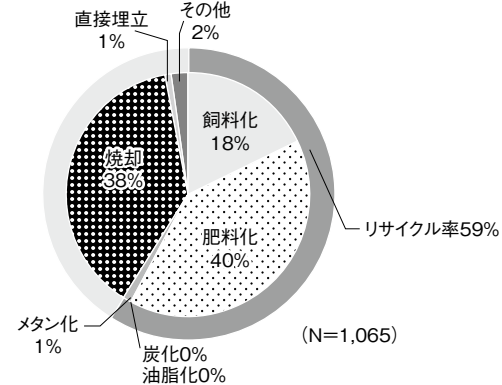
資料: 農林水産省「食料需給表」

学校給食から発生する食品ロスの状況

児童・生徒 1 人当たりの年間の
食品廃棄物発生量 (2013 年度)

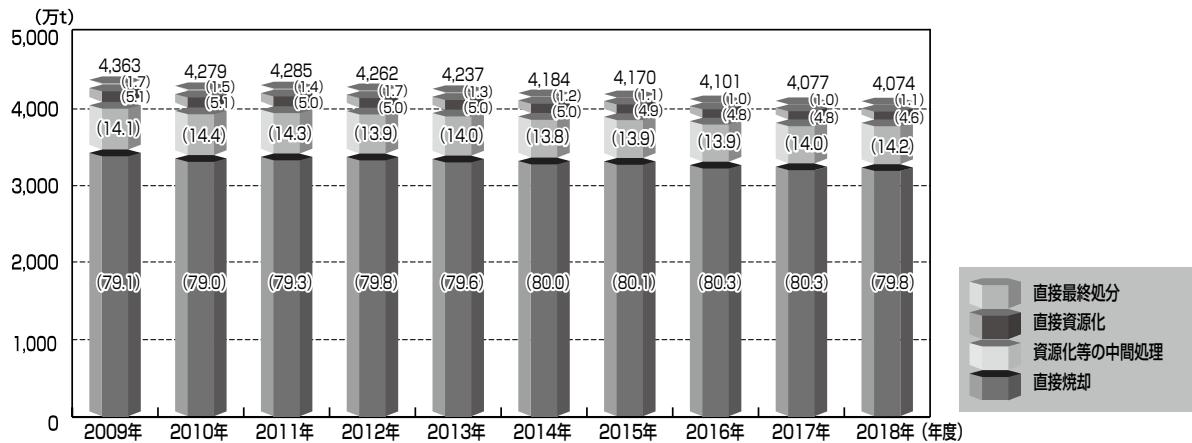


食品廃棄物のリサイクル率
(2013 年度)



資料：環境省「平成 26 年度学校給食センターからの食品廃棄物の発生量・処理状況調査結果」

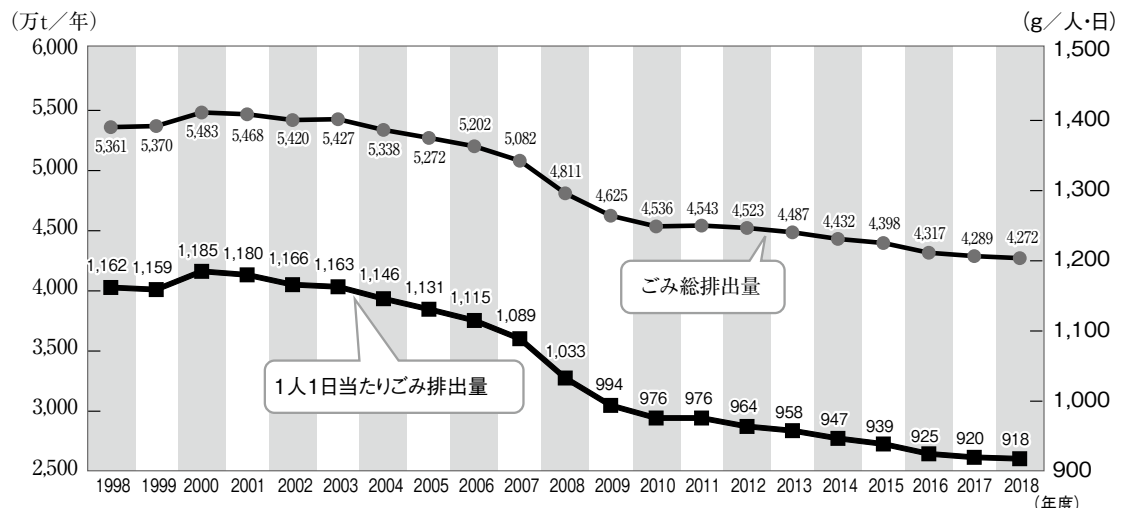
ごみ処理の現状 (ごみの総処理量の推移)



資料：環境省「一般廃棄物の排出および処理状況等 (平成 30 年度) について」

注：グラフ内 () は構成比率 %。

ごみ総排出量と 1 人 1 日当たりごみ排出量の推移

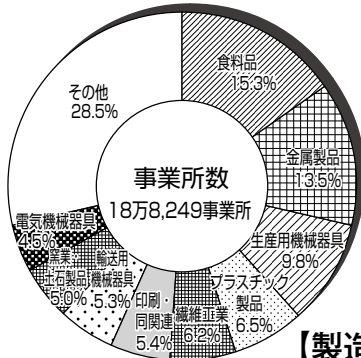


資料：環境省「一般廃棄物の排出および処理状況等 (平成 30 年度) について」

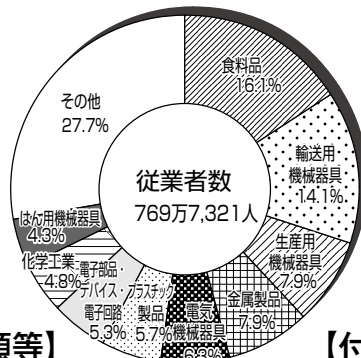
注：「ごみ総排出量」=「計画収集量 + 直接搬入量 + 資源ごみの集団回収量」
2012 年からは外国人も含む。

製造業の産業別構成比（2017年）

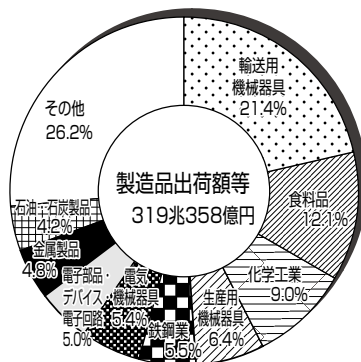
【事業所数】



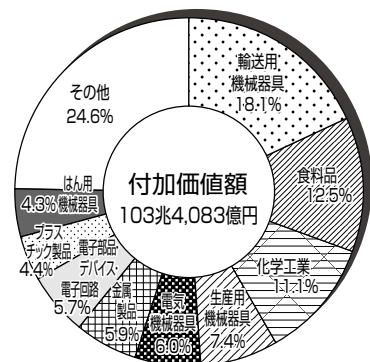
【従業者数】



【製造品出荷額等】



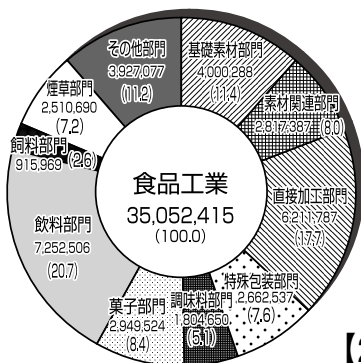
【付加価値額】



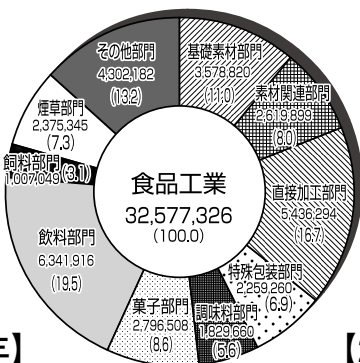
資料：経済産業省「平成30年工業統計表（産業編）」
注：従業者4人以上の事業所。

部門別出荷額の推移

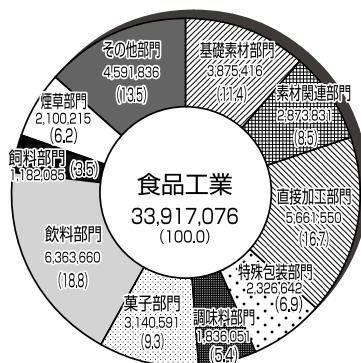
【1995年】



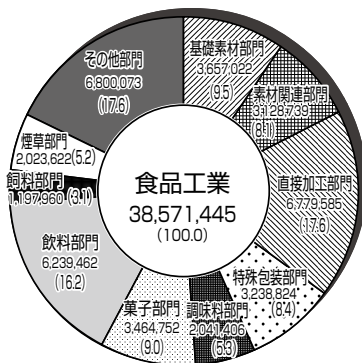
【2005年】



【2010年】



【2017年】



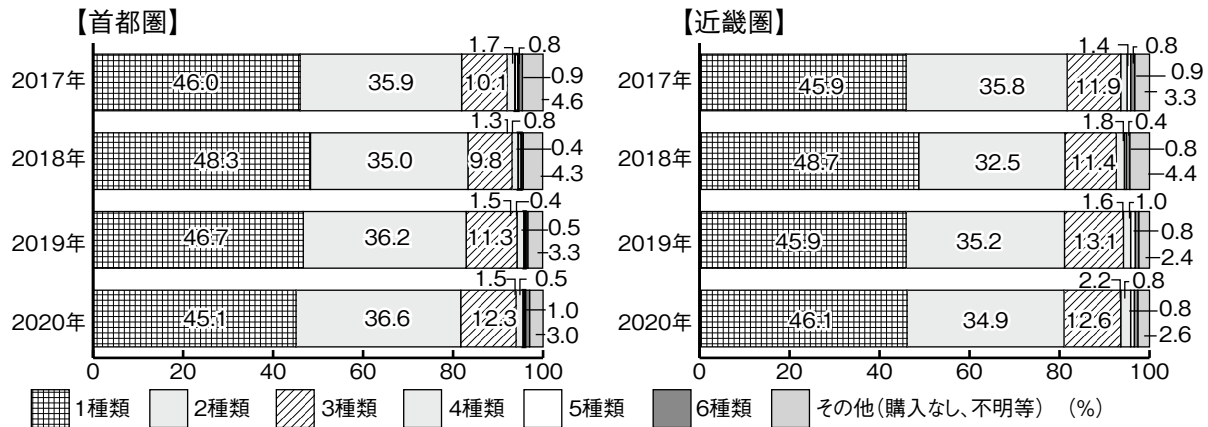
資料：経済産業省「工業統計表（産業編）」

注：素材関連部門に食用油脂加工工業は含まない。

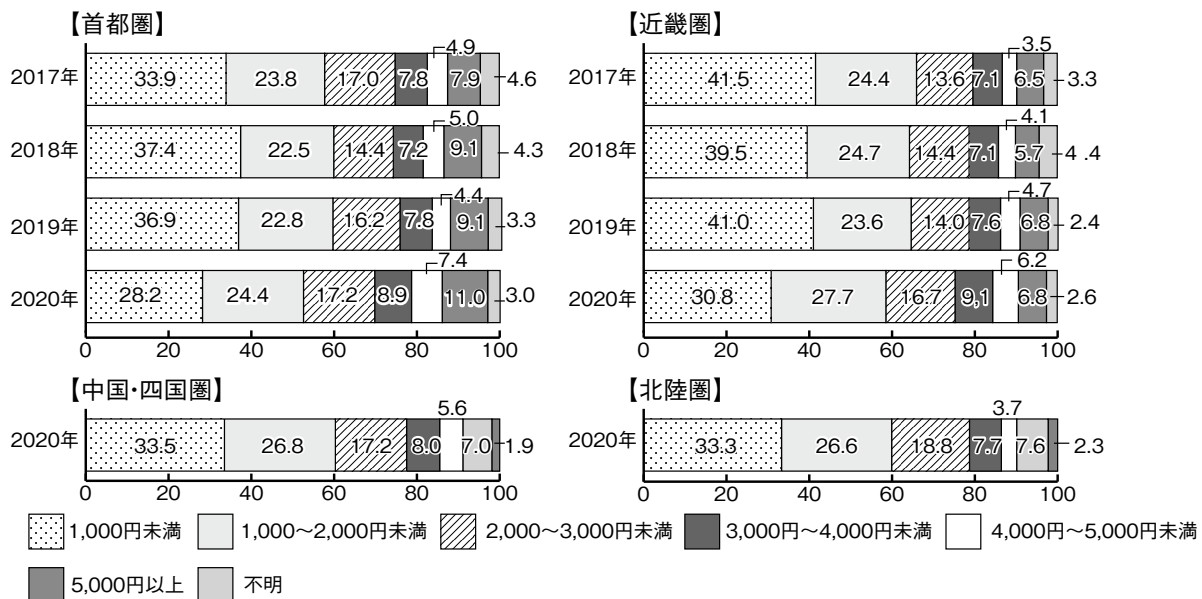
◆各部門の主要業種
・基礎素材＝製粉、製油、精糖、乳業、でん粉
・直接加工＝畜産、水産、農産加工
・菓子＝生菓子、ビスケット等、米菓
・基礎素材＝パン、めん類、食用油脂加工、ぶどう糖等
・調味料＝みそ、しょう油、その他の調味料等
・飼料＝飼料・有機質肥料
・その他＝精穀、あん類等

惣菜購入に関する分析

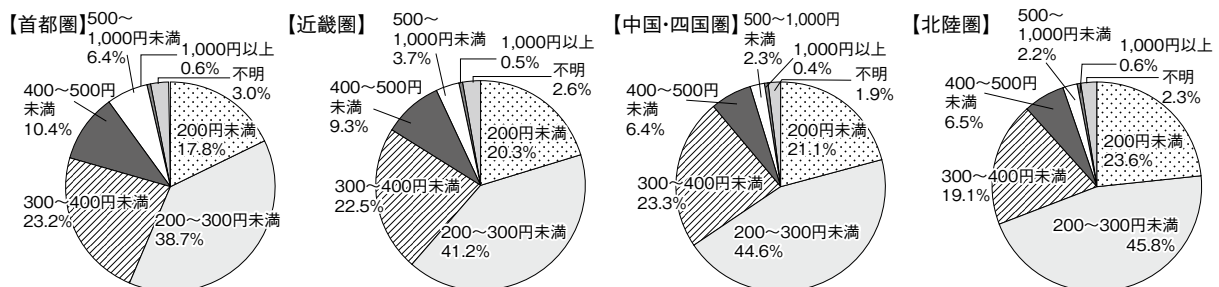
1 回あたりの惣菜購入種類



月平均惣菜購入金額



惣菜の単価の目安 (2020 年)



資料：(一社) 日本惣菜協会「2020年版 惣菜白書」

注：調査地域：首都圏、近畿圏、中国・四国圏、北陸圏、に居住する20～70代の女性。サンプル数5,210人(回収数)。調査期間：2020年2月の4日間。

POS データにみる 2019 年度食品売れ筋シェア

風味調味料		2019 年 4 月～2020 年 3 月	年度合計	シェア
		全店舗数	1,093	-
No	メーカー名	商品名	全店舗数	795,990,324
1	味の素	味の素ほんだし箱 450 g	333,156,679	14.7
2	味の素	味の素ほんだし箱 120 g	293,354,188	12.9
3	味の素	味の素ほんだし箱 300 g	87,367,651	3.8
4	味の素	味の素ほんだし小袋 20 袋入箱 160 g	84,879,221	3.7
5	理研ビタミン	理研素材力本かつおだしお徳用 5 g × 14	57,532,476	2.5
6	味の素	味の素ほんだしスティック 8 g × 7	53,404,269	2.4
7	味の素	味の素お塩控えめ・ほんだし箱 100 g	50,908,718	2.2
8	シマヤ	シマヤだしの素粉末 10 g × 20	47,299,837	2.1
9	味の素	味の素ほんだし小袋 40 袋入り箱 320 g	41,295,515	1.8
10	味の素	味の素ほんだしスティック 8 g × 26	36,675,165	1.6
合計			2,272,554,362	100.0

うま味調味料		2019 年 4 月～2020 年 3 月	年度合計	シェア
		全店舗数	1,093	-
No	メーカー名	商品名	全店舗数	795,990,324
1	味の素	味の素うま味調味料味の素袋 50 g	99,953,830	34.6
2	味の素	味の素うま味調味料味の素袋 100 g	55,739,657	19.3
3	味の素	味の素うま味調味料味の素アジパンダ瓶 70 g	30,163,330	10.4
4	味の素	味の素うま味調味料味の素袋 400 g	24,031,923	8.3
5	味の素	味の素うま味だし・ハイミー袋 75 g	19,183,128	6.6
6	三菱商事ライフサイエンス	MC フードいの一 100 g	18,093,482	6.3
7	味の素	味の素うま味だし・ハイミー袋 35 g	17,292,818	6.0
8	味の素	味の素味の素 S 業務用袋 1 kg	10,924,772	3.8
9	三菱商事ライフサイエンス	武田キリンいの一 50 g	3,201,826	1.1
10	ヤマサ醤油	ヤマサフレーブ 50 g	2,113,398	0.7
合計			289,125,929	100.0

ケチャップ		2019 年 4 月～2020 年 3 月	年度合計	シェア
		全店舗数	1,093	-
No	メーカー名	商品名	全店舗数	795,990,324
1	カゴメ	カゴメトマトケチャップ 500 g	368,230,480	30.6
2	カゴメ	C G C トマトケチャップ 500 g	88,729,858	7.4
3	日本デルモンテ	デルモンテリコピリットマトケチャップ 485 g	79,126,372	6.6
4	カゴメ	カゴメ基本のトマトソース 295 g	65,995,387	5.5
5	カゴメ	カゴメトマトケチャップ 300 g	60,894,277	5.1
6	日本デルモンテ	デルモンテマトケチャップチューブ 500 g	51,502,200	4.3
7	日本デルモンテ	デルモンテマトケチャップバリュー B 800 g	39,626,649	3.3
8	ハイネット日本	ハイネットマトケチャップ逆さボトル 460 g	36,722,102	3.1
9	シジシージャパン	C G C トマトケチャップ 500 g	29,856,055	2.5
10	カゴメ	カゴメトマトケチャップ 800 g	29,707,733	2.5
合計			1,201,603,220	100.0

その他のたれ		2019 年 4 月～2020 年 3 月	年度合計	シェア
		全店舗数	1,093	-
No	メーカー名	商品名	全店舗数	795,990,324
1	エバラ食品工業	エバラすき焼のたれマイルド 500ml	207,490,656	12.1
2	エバラ食品工業	エバラすき焼のたれ 500ml	102,179,586	6.0
3	Mizkan	ミツカンごましゃぶ 250ml	77,671,660	4.5
4	エバラ食品工業	エバラすき焼のたれマイルド 300ml	62,526,448	3.6
5	ヤマサ醤油	ヤマサすき焼専科パック 500ml	59,441,849	3.5
6	エバラ食品工業	エバラすき焼のたれ 300ml	54,058,664	3.2
7	Mizkan	ミツカン金のごまだれ焙煎荒挽き仕上げ 250ml	45,343,478	2.6
8	エバラ食品工業	エバラしゃぶしゃぶごまだれ瓶 335 g	37,295,230	2.2
9	創味食品	創味すき焼のたれ 500ml	32,832,932	1.9
10	ヒガシマル醤油	ヒガシマルちよとんぶうすくち 4 P 56 g	27,644,967	1.6
合計			1,718,385,878	100.0

ドレッシング		2019 年 4 月～2020 年 3 月	年度合計	シェア
		全店舗数	1,093	-
No	メーカー名	商品名	全店舗数	795,990,324
1	キュービー	キュービー深煎りごまドレッシング 380ml	502,994,671	11.8
2	ビエトロ	ビエトロドレッシング和風しょうゆ 280ml	197,406,607	4.6
3	キュービー	キュービー深煎りごまドレッシング 180ml	173,353,510	4.1
4	キュービー	キュービーシーザーサラダドレッシング 380ml	158,666,997	3.7
5	キュービー	キュービーすりおろしオニオンドレッシング 380ml	104,773,311	2.5
6	キュービー	キュービーテイステイ黒酢たまねぎ 210ml	93,487,880	2.2
7	キュービー	キュービーシーザーサラダドレッシング 180ml	84,946,459	2.0
8	キュービー	テイステイドレッシング和風香味玉葱 210ml	82,984,966	2.0
9	キュービー	C G C 深煎りごまドレッシング 380ml	80,278,766	1.9
10	理研ビタミン	リケンのノンオイル青じそ 190ml	74,714,246	1.8
合計			4,259,726,127	100.0

液体だし		2019 年 4 月～2020 年 3 月	年度合計	シェア
		全店舗数	1,093	-
No	メーカー名	商品名	全店舗数	795,990,324
1	福山醸造	トモエ日高昆布だし彩り 500ml	2,907,817	17.4
2	テンヨ武田	テンヨ卵焼きのだしカレンダータイプ 15 g × 5	2,713,553	16.2
3	全国農業協同組合連合会	A コープかつおだし 瓶 400ml	1,681,609	10.1
4	桃屋	桃屋一番だしと焼あごだしで白だし 400ml	1,647,568	9.9
5	ベル食品	ベル北海道万能根昆布だし 瓶 400ml	1,317,197	7.9
6	盛田	味一 900ml	942,840	5.6
7	ヤマチュウ食品	ヤマチュウ食品真昆布だし根昆布入 300ml	863,183	5.2
8	羅臼漁業協同組合	羅臼らうす昆布だし 瓶 300ml	645,755	3.9
9	ヤマチュウ食品	ヤマチュウ日高産根昆布だし 500ml	627,110	3.8
10	紅梅しょうゆ	紅梅かつおだし 1 l	515,578	3.1
合計			16,711,558	100.0

ソース		2019 年 4 月～2020 年 3 月	年度合計	シェア
		全店舗数	1,093	-
No	メーカー名	商品名	全店舗数	795,990,324
1	オタフクソース	オタフクお好みソースフクボウル 500 g	179,401,714	12.5
2	ブルドックソース	ブルドック中濃ソース 500ml	119,146,874	8.3
3	ブルドックソース	ブルドック中濃ソース 300ml	68,369,146	4.8
4	ブルドックソース	ブルドックとんかつソース 500ml	64,247,080	4.5
5	オタフクソース	オタフクお好みソース S B 300 g	59,383,816	4.1
6	カゴメ	カゴメ醸熟ソースとんかつ 500ml	56,013,778	3.9
7	カゴメ	カゴメ醸熟ソースウスター 500ml	53,330,022	3.7
8	オタフクソース	オタフク焼そばソース F B 500 g	41,120,099	2.9
9	カゴメ	カゴメ醸熟ソースウスター 300ml	32,627,277	2.3
10	ブルドックソース	ブルドックとんかつソース 300ml	30,262,089	2.1
合計			1,439,977,081	100.0

焼き肉のたれ		2019 年 4 月～2020 年 3 月	年度合計	シェア
		全店舗数	1,093	-
No	メーカー名	商品名	全店舗数	795,990,324
1	エバラ食品工業	エバラ黄金の味 360 g	227,901,982	9.1
2	エバラ食品工業	エバラ黄金の味甘口 360 g	142,966,550	5.7
3	キッコーマン食品	キッコーマンわが家は焼肉屋さん中辛 400 g	89,584,681	3.6
4	叙々苑	叙々苑特製焼肉のたれ 240 g	72,672,790	2.9
5	エバラ食品工業	エバラ生姜焼のたれ 230 g	70,079,367	2.8
6	モランボン	モランボンジャン焼肉のたれ 240 g	64,331,060	2.6
7	キッコーマン食品	キッコーマンわが家は焼肉屋さん甘口 400 g	59,751,699	2.4
8	エバラ食品工業	エバラおろしのたれ 270 g	59,600,390	2.4
9	エバラ食品工業	エバラ黄金の味中辛 210 g	55,404,112	2.2
10	エバラ食品工業	エバラ黄金の味辛口 360 g	54,869,275	2.2
合計			2,497,246,775	100.0

マヨネーズ		2019 年 4 月～2020 年 3 月	年度合計	シェア
		全店舗数	1,093	-
No	メーカー名	商品名	全店舗数	795,990,324
1	キュービー	キュービーマヨネーズ 450 g	903,563,157	29.1
2	キュービー	キュービーハーフ 400 g	446,860,913	14.4
3	味の素	味の素ビュアセレクトマヨネーズ 400 g	366,406,786	11.8
4	味の素	ビュアセレクトコクうま 65%カロリーカット 360 g	168,438,069	5.4
5	キュービー	キュービーマヨネーズ 350 g	118,541,084	3.8
6	キュービー	キュービーハーフ 300 g	73,619,313	2.4
7	キュービー	キュービータルタルソース 155 g	73,352,163	2.4
8	味の素	味の素ビュアセレクトサラリア 210 g	58,612,383	1.9
9	キュービー	キュービーアマニ油マヨネーズ 200 g	46,690,525	1.5
10	キュービー	くらしモアマヨネーズ 400 g	43,576,797	1.4
合計			3,107,612,784	100.0

香辛料 (からし・わさび以外)		2019 年 4 月～2020 年 3 月	年度合計	シェア
		全店舗数	1,093	-
No	メーカー名	商品名	全店舗数	795,990,324
1	エスビー食品	S & B お徳用おろししょうが 160 g	137,302,974	4.0
2	ハウス食品	ハウスおろししょうが 40 g	94,448,461	2.8
3	エスビー食品	S & B お徳用おろし生にんにく 175 g	91,220,572	2.7
4	エスビー食品	S & B 本生しょうが 40 g	89,355,628	2.6
5	ビービーアイジャパン	タバスコペッパーソース 60ml	74,547,897	2.2
6	エスビー食品	S & B カレー缶 37 g	68,166,220	2.0
7	桃屋	桃屋辛そうで辛い少ない辛いラー油 110 g	67,834,399	2.0
8	ハウス食品	ハウスおろし生にんにく 43 g	61,694,918	1.8
9	ハウス食品	ハウス特選本香ししょうが 40 g	55,333,125	1.6
10	エスビー食品	S & B おろししょうが 40 g	53,718,622	1.6
合計			3,397,462,001	100.0

単位 店舗数(店) / 全店舗数(人) / 合計・金額(円) / シェア(%)

輸出入関係資料

2018～2019年輸出量の変化

注目される輸出額、輸出量の急増・急減品目

輸出額増加率上位品目 (単位：千円、%)				
順位	品目	2018年	2019年	対前年増減率
1	生糸	489	2,176	345.0
2	カカオ脂	3,976	8,112	104.0
3	綿のくず	16,338	25,860	58.3
4	ほや(活・生・蔵)	775,704	1,193,010	53.8
5	かつお類(缶詰)	155,194	237,521	53.0
6	えび(冷凍)	459,631	689,262	50.0
7	ぶり(生・蔵・凍)	15,765,122	22,920,196	45.4
8	鳥卵・卵黄	1,694,266	2,358,082	39.2
9	パーティクルボード	434,652	597,563	37.5
10	ひらめ・かれい(生・蔵・凍)	1,246,023	1,649,026	32.3

輸出量増加率上位品目					
順位	品目	単位	2018年	2019年	対前年増減率
1	生糸	kg	49	229	367.3
2	ぶり(生・蔵・凍)	kg	9,000,225	29,508,609	227.9
3	油脂原料	t	276	785	184.4
4	野菜(生鮮・冷蔵)	kg	5,342,970	13,385,230	150.5
5	さんご	kg	6,104	12,214	100.1
6	綿のくず	kg	233,420	421,848	80.7
7	えび(冷凍)	kg	401,062	715,302	78.4
8	蚕糸	kg	6,303	10,600	68.2
9	その他の蚕糸	kg	6,254	10,371	65.8
10	あわび(調製)	kg	13,219	21,293	61.1

輸出額減少率上位品目 (単位：千円、%)				
順位	品目	2018年	2019年	対前年増減率
1	くり	436,865	223,654	▲48.8
2	ぶどう糖	236,785	128,238	▲45.8
3	豚の皮	6,597,064	3,682,843	▲44.2
4	薬用にしん	9,636	5,413	▲43.8
5	あまに油	12,626	7,324	▲42.0
6	原皮	7,939,386	4,714,541	▲40.6
7	天然ゴム類	118,378	70,377	▲40.5
8	原皮・原毛皮	8,062,309	4,808,708	▲40.4
9	かつお類(生・蔵・凍)	5,728,310	3,508,149	▲38.8
10	ぶどう酒	272,362	168,249	▲38.2

輸出量減少率上位品目					
順位	品目	単位	2018年	2019年	対前年増減率
1	レタス	kg	95,691	32,758	▲65.8
2	薬用にしん	t	447	210	▲53.0
3	天然ゴム類	kg	391,098	201,846	▲48.4
4	獣毛	kg	8,539	4,605	▲46.1
5	ぶどう酒	kg	225,205	128,621	▲42.9
6	さば缶詰(水煮)	ℓ	1,253,243	756,806	▲39.6
7	あまに油	kg	27,660	17,015	▲38.5
8	いわし(缶詰)	kg	103,867	66,252	▲36.2
9	魚油(肝油除く)	kg	34,129	22,905	▲32.9
10	たこ(活・生・蔵・凍・塩・乾)	kg	626,603	421,463	▲32.7

10.1%以上輸出額の増えたもの 49品目
 0～10%輸出額の増えたもの 52品目
 0～10%輸出額の減ったもの 46品目
 10.1%以上輸出額の減ったもの 45品目

10.1%以上輸出量の増えたもの 45品目
 0～10%輸出量の増えたもの 39品目
 0～10%輸出量の減ったもの 41品目
 10.1%以上輸出量の減ったもの 43品目

資料：農林水産省「農林水産物輸出入概況」

注：財務省「貿易統計」を基に、農林水産物に該当する192品目を抽出している。

日本の地域別・おもな国別輸出額

(単位：億円)

地域・国名	2016年		2017年		2018年			
		%		%		%	増加額	%
輸出総額	700,358	100.0	782,865	100.0	814,788	100.0	31,923	4.1
アジア	401,369	57.3	457,345	58.4	476,823	58.5	19,478	4.3
A S E A N	103,785	14.8	118,720	15.2	126,345	15.5	7,625	6.4
中東	25,846	3.7	23,499	3.0	24,338	3	839	3.6
西ヨーロッパ	78,476	11.2	86,780	11.1	90,192	11.1	3,412	3.9
東ヨーロッパ・ロシア	11,720	1.7	13,862	1.8	15,763	1.9	19,010	13.7
E U	79,817	11.4	86,569	11.1	92,092	11.3	5,522	6.4
北アメリカ	172,030	24.6	183,925	23.5	188,268	23.1	4,343	2.4
南アメリカ	8,281	1.2	9,511	1.2	10,719	1.3	1,208	12.7
オセアニア	20,096	2.9	23,009	2.9	24,022	2.9	1,014	4.4
アフリカ	8,387	1.2	8,433	1.1	9,001	1.1	568	6.7
アメリカ	141,429	20.2	151,135	19.3	154,658	19	3,523	2.3
中国	123,614	17.7	148,897	19.0	159,010	19.5	10,113	6.8
韓国	50,204	7.2	59,752	7.6	57,931	7.1	▲1,821	▲3.0
(台湾)	42,677	6.1	45,578	5.8	46,796	5.7	1,218	2.7
(香港)	36,515	5.2	39,741	5.1	38,329	4.7	▲1,412	▲3.6
タイ	29,744	4.2	33,004	4.2	35,626	4.4	2,621	7.9
シンガポール	21,546	3.1	25,406	3.2	25,842	3.2	436	1.7
ドイツ	19,171	2.7	21,246	2.7	23,061	2.8	1,815	8.5
オーストラリア	15,321	2.2	17,956	2.3	18,862	2.3	906	5.0

資料：財務省「貿易統計」

ジャム

調理食品

トレンド動向

2018 2019 2020
上期 下期 上期 下期 上期 下期

〔市場動向〕

コロナ禍による人々の在宅時間の増加にともない、朝食喫食率が増加していることを受け、ジャム・スプレッドの需要が拡大。20年3月以降は、市場全体で前年比2ケタ増と高い伸長を示している。新生活様式で、20年下期も引き続き在宅時間の増加による内食需要が高まることが予想され、ジャム・スプレッドの需要は伸長が予想される。

一方、メーカーは、「新型コロナウイルスの影響で買いだめが発生したことで、一時的に伸長はしているが、長期スパンではそれほど大きな影響はない」と冷静な対応を示す。背景には、ジャム市場は長期的に見ると緩やかな減少傾向を示していることがある。

19年度のジャムの国内生産数量（日本ジャム工業組合調べ）は4万9,161 tで前年比4.8%減。アヲハタの調査でも19年の市場規模は前年比3%減の401億円と減少。日本の朝食欠食率の高さと糖質制限の高まりなどがその要因だ。

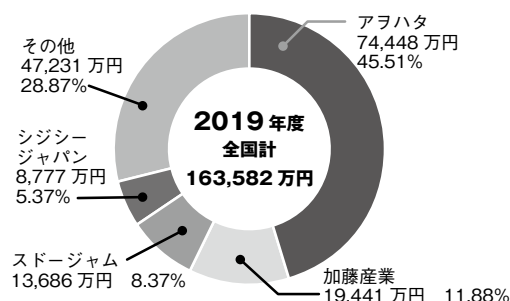
20年下期は、原材料のフルーツがグローバル調達であることから、世界的なコロナ禍で原料調達の滞りが懸念される。

ジャム市場のコア層は高齢者で、若年層の開拓が急務。コロナ禍でジャムの喫食機会が増加し、その良さに気づく若年層が増えることに期待がかかる。

ジャム購入量ランキング

順位	都 市	年間購入量 (g)	支出金額 (円)
1	神戸市	1,714	1,578
2	広島市	1,550	1,869
3	宇都宮市	1,532	1,511
4	相模原市	1,473	1,486
5	松江市	1,413	1,568

ジャムメーカーシェア



業務用冷食

調理食品

トレンド動向

2018 2019 2020
上期 下期 上期 下期 上期 下期

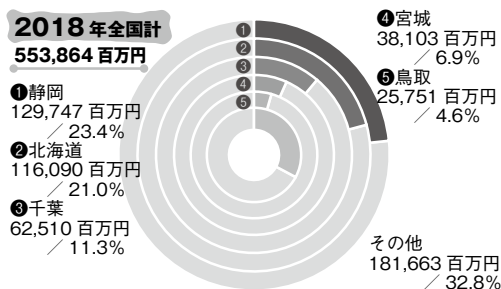
〔市場動向〕

業務用冷凍食品の20年後半は大幅減で推移しそうだ。新型コロナウイルスの影響で、3～5月の各メーカー業績は一気に暗転。とくに学校給食・外食筋を中心に需要と売上げが消滅した。6月以降、学校や経済・社会活動再開の動きを受け、市場は正常化に向かいつつあるが、感染防止対策を持続するなかでインバウンド大幅減少、ホテル・外食店の客数抑制が続く。そのため、業務用冷食の総需要は今後も前年比で大きく落ち込むと予想される。

量販店惣菜、病院・福祉施設向け介護食への影響は限定的で、足元まで前年並みの売上げを維持しているもよう。ただ、フライ類や焼き鳥など、惣菜売場のばら売りが衛生面の懸念から休止されるなど、商品規格の変更を余儀なくされた。

メーカーによって業態別の売上げ構成比が異なるため影響に強弱はあるが、各社平均の期初4～5月累計売上げは、前年同期比2～3割減とみる。うち給食（学校・事業所など合計）と外食業態は4～5割減と推測する。6月以降は徐々に回復しているが、足元では各社とも20年春の新商品など、積み上がった在庫の販売に追われている。より深刻なのが利益面で、在庫滞留による保管コスト増、配送費・人件費の持続的上昇により、売上げ減以上の打撃となろう。

冷凍水産食品出荷量シェア



冷凍農産素材メーカーシェア

